

## 別 海 町 議 会 会 議 録

### 第 2 号 (平成 2 2 年 3 月 1 1 日)

#### 議事日程

日程第 1		会議録署名議員の指名
日程第 2	議案第 2 0 号	北海道総合振興局及び振興局の設置に関する条例の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について
日程第 3	議案第 2 1 号	別海町監査委員条例の一部を改正する条例の制定について
日程第 4	議案第 2 2 号	別海町議会議員の議員報酬額及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
日程第 5	議案第 2 3 号	特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について
日程第 6	議案第 2 4 号	教育長の給与及び旅費並びに勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
日程第 7	議案第 2 5 号	職員の勤務時間及び休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
日程第 8	議案第 2 6 号	別海町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について
日程第 9	議案第 2 7 号	職員の分限に関する条例の一部を改正する条例の制定について
日程第 1 0	議案第 2 8 号	別海町奨学資金支給条例の一部を改正する条例の制定について
日程第 1 1	議案第 2 9 号	別海町地域防災センター設置条例の一部を改正する条例の制定について
日程第 1 2	議案第 3 0 号	別海町町税条例の一部を改正する条例の制定について
日程第 1 3	議案第 3 1 号	別海町重度心身障害者及びひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について
日程第 1 4	議案第 3 2 号	別海町障害者地域生活支援事業条例の一部を改正する条例の制定について
日程第 1 5	議案第 3 3 号	別海町立へき地保育園条例の一部を改正する条例の制定について
日程第 1 6	議案第 3 4 号	別海町ケアハウス条例の一部を改正する条例の制定について
日程第 1 7	議案第 3 5 号	別海町営住宅条例の一部を改正する条例の制定について
日程第 1 8	議案第 3 6 号	別海町地域振興住宅条例の一部を改正する条例の制定について
日程第 1 9	議案第 3 7 号	別海町特定公共賃貸住宅条例の一部を改正する条例の制定

		について
日程第 2 0	議案第 3 8 号	別海町社会体育施設設置条例の一部を改正する条例の制定について
日程第 2 1	議案第 3 9 号	別海町小作料協議会条例を廃止する条例の制定について
日程第 2 2	議案第 4 0 号	町道の路線認定及び廃止について
日程第 2 3	議案第 4 1 号	北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更について
日程第 2 4	議案第 4 2 号	北海道市町村総合事務組合規約の変更について
日程第 2 5	議案第 4 3 号	北海道市町村職員退職手当組合規約の変更について
日程第 2 6	議案第 4 4 号	根室支庁管内町村公平委員会規約の変更について
日程第 2 7	議案第 4 5 号	釧路・根室広域地方税滞納整理機構規約の変更について
日程第 2 8	議案第 4 6 号	根室広域圏振興協議会の廃止について
日程第 2 9	同意第 2 号	根室支庁管内町村公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて
日程第 3 0	同意第 3 号	別海町監査委員の選任につき同意を求めることについて
日程第 3 1	諮問第 1 号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
日程第 3 2		各議案・討論・採決

#### 会議に付した事件

日程第 1		会議録署名議員の指名
日程第 2	議案第 2 0 号	北海道総合振興局及び振興局の設置に関する条例の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について
日程第 3	議案第 2 1 号	別海町監査委員条例の一部を改正する条例の制定について
日程第 4	議案第 2 2 号	別海町議会議員の議員報酬額及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
日程第 5	議案第 2 3 号	特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について
日程第 6	議案第 2 4 号	教育長の給与及び旅費並びに勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
日程第 7	議案第 2 5 号	職員の勤務時間及び休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
日程第 8	議案第 2 6 号	別海町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について
日程第 9	議案第 2 7 号	職員の分限に関する条例の一部を改正する条例の制定について
日程第 1 0	議案第 2 8 号	別海町奨学資金支給条例の一部を改正する条例の制定について
日程第 1 1	議案第 2 9 号	別海町地域防災センター設置条例の一部を改正する条例の制定について
日程第 1 2	議案第 3 0 号	別海町町税条例の一部を改正する条例の制定について
日程第 1 3	議案第 3 1 号	別海町重度心身障害者及びひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について

- 日程第 1 4 議案第 3 2 号 別海町障害者地域生活支援事業条例の一部を改正する条例の制定について
- 日程第 1 5 議案第 3 3 号 別海町立へき地保育園条例の一部を改正する条例の制定について
- 日程第 1 6 議案第 3 4 号 別海町ケアハウス条例の一部を改正する条例の制定について
- 日程第 1 7 議案第 3 5 号 別海町営住宅条例の一部を改正する条例の制定について
- 日程第 1 8 議案第 3 6 号 別海町地域振興住宅条例の一部を改正する条例の制定について
- 日程第 1 9 議案第 3 7 号 別海町特定公共賃貸住宅条例の一部を改正する条例の制定について
- 日程第 2 0 議案第 3 8 号 別海町社会体育施設設置条例の一部を改正する条例の制定について
- 日程第 2 1 議案第 3 9 号 別海町小作料協議会条例を廃止する条例の制定について
- 日程第 2 2 議案第 4 0 号 町道の路線認定及び廃止について
- 日程第 2 3 議案第 4 1 号 北海道町村議会議員公務災害補償等組合理約の変更について
- 日程第 2 4 議案第 4 2 号 北海道市町村総合事務組合理約の変更について
- 日程第 2 5 議案第 4 3 号 北海道市町村職員退職手当組合理約の変更について
- 日程第 2 6 議案第 4 4 号 根室支庁管内町村公平委員会規約の変更について
- 日程第 2 7 議案第 4 5 号 釧路・根室広域地方税滞納整理機構規約の変更について
- 日程第 2 8 議案第 4 6 号 根室広域圏振興協議会の廃止について
- 日程第 2 9 同意第 2 号 根室支庁管内町村公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて
- 日程第 3 0 同意第 3 号 別海町監査委員の選任につき同意を求めることについて
- 日程第 3 1 諮問第 1 号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
- 日程第 3 2 各議案・討論・採決

出席議員（ 1 7 名 ）

1 番	西 原 浩	2 番	沓 澤 昌 廣
3 番	福 原 春 夫	4 番	安 部 政 博
5 番	瀧 川 榮 子	6 番	山 田 信
7 番	丹 羽 勝 夫	8 番	松 原 政 勝
9 番	戸 田 博 義	1 0 番	戸 田 憲 悦
1 1 番	中 村 忠 士	1 2 番	佐 藤 初 雄
1 3 番	池 田 幸 雄	1 5 番	山 崎 賢 一
1 6 番	佐々木 春 男	副議長	1 7 番 横 堀 昭 康
議長	1 8 番 渡 邊 政 吉		

遅参議員（ 1 名 ）

3 番 福 原 春 夫

欠席議員（１名）

１４番 安 田 輝 男

出席説明員

町 長	水 沼 猛	副 町 長	磯 田 俊 夫
教 育 長	山 口 長 伸	代 表 監 査 委 員	鈴 木 英 世
総 務 部 長	小 守 正	福 祉 部 長	佐 竹 博
産 業 振 興 部 長	飯 島 孝 二	建 設 水 道 部 長	田 中 忠 敏
教 育 部 長	根 本 幸 三	会 計 管 理 者	秋 森 正 弘
病 院 事 務 長	真 籠 毅	福 祉 部 部 長 代 理	田 村 秀 男
産 業 振 興 部 部 長 代 理	中 村 保 彦	監 査 委 員 事 務 局 長	半 田 雅 代
福 祉 部 次 長	守 川 昇	農 委 事 務 局 長	千 葉 俊 文
総 務 課 長	松 本 光 永	総 務 課 参 事	大 島 登
総 合 政 策 課 長	有 田 博 喜	財 政 課 長	森 本 哲 男
税 務 課 長	干 場 俊 昭	福 祉 課 長	笠 原 悦 雄
福 祉 部 付 課 長	松 壽 和 広	町 民 課 長	斎 藤 英 彦
保 健 課 長	佐 藤 良 幸	福 祉 課 参 事	清 尾 昌 弘
特 老 施 設 長	村 井 勉	デ イ サ ー ビ ス セ ン タ ー 長	小 椋 忠 男
老 健 事 務 長	佐々木 諭	保 健 セ ン タ ー 長	田 村 秀 男
農 政 課 長	土 井 一 典	環 境 特 別 推 進 室 長	佐 藤 康 男
水 産 み ど り 課 長	藤 原 繁 光	商 工 観 光 課 長	中 村 保 彦
管 理 課 長	木 村 功 男		
事 業 課 長	天 田 豊	事 業 課 技 術 長 ( 建 築 担 当 ・ 病 院 建 設 準 備 担 当 )	山 岸 英 一
下 水 道 課 長	光 延 章	出 納 室 長	上 月 昭 彦
病 院 事 務 課 長	宮 部 正 好	学 務 課 長	佐 藤 英 敏
学 務 課 参 事	今 井 道 春	生 涯 学 習 課 長	中 川 浩
社 会 体 育 課 長 ( 総 合 ス ポ ー ツ セ ン タ ー 館 長 )	斉 藤 敏 幸		

議会事務局出席職員

事 務 局 長	佐 藤 次 春	主 任	福 原 義 人
会 議 録 署 名 議 員			

１ 番 西 原 浩

２ 番 沓 澤 昌 廣

４ 番 安 部 政 博

開議 午前 10 時 00 分

#### 開議宣告

議長（渡邊政吉君） ただいまから、第 2 日目の会議を開きます。

ただいま出席している議員は 16 名であります。定足数に達しておりますので、直ちに本日の会議を開きます。

なお、遅参議員は 3 番福原議員でございます。欠席議員は 14 番安田議員でございます。

本日の議事日程はお手元に配付のとおりです。

#### 日程第 1 会議録署名議員の指名

議長（渡邊政吉君） 日程第 1 会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第 119 条の規定により、議長において指名いたします。

1 番西原議員、2 番沓澤議員、4 番阿部議員、以上 3 名を指名いたします。

#### 日程第 2 議案第 20 号

議長（渡邊政吉君） 日程第 2 議案第 20 号北海道総合振興局及び振興局の設置に関する条例の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定についてを議題といたします。

内容について説明を求めます。

総務課長。

総務課長（松本光永君） 議案第 20 号の内容説明を申し上げます。

本議案は、北海道総合振興局及び振興局の設置に関する条例の施行により、平成 22 年 4 月 1 日から支庁が北海道総合振興局並びに振興局にそれぞれ変更となることから、本町の六つの関係条例を一括整理するため、所要の改正を行うものであります。

それでは、議案の朗読により内容説明をさせていただきます。

議案書の 19 ページをお開き願います。

北海道総合振興局及び振興局の設置に関する条例の施行に伴う関係条例の整理に関する条例。

まず、別海町支所設置条例の一部改正。

第 1 条、別海町支所設置条例（昭和 30 年別海町条例第 7 号）の一部を次のように改正する。

別表別海町西春別支所の項、所管区域の欄中、「釧路支庁」を「釧路総合振興局」に改める。

次に、別海町議会議員の議員報酬額及び費用弁償等に関する条例の一部改正です。

第 2 条、別海町議会議員の議員報酬額及び費用弁償等に関する条例（昭和 22 年別海村条例第 1 号）の一部を次のように改正する。

別表第 2 中「根室支庁管内」を「根室振興局管内」に、「釧路支庁管内」を「釧路総合振興局管内」に改める。

三つ目は、特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正です。

第 3 条、特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例（昭和 43 年別海村条例第 43 号）の一部を次のように改正する。

別表第2中「根室支庁管内」を「根室振興局管内」に、「釧路支庁管内」を「釧路総合振興局管内」に改める。

四つ目は、証人等の実費弁償に関する条例の一部改正です。

第4条、証人等の実費弁償に関する条例（平成3年別海町条例第21号）の一部を次のように改正する。

別表中「根室支庁管内」を「根室振興局管内」に、「釧路支庁管内」を「釧路総合振興局管内」に改める。

五つ目は、特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正です。

第5条、特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例（昭和40年別海村条例第26号）の一部を次のように改正する。

別表第2中「根室支庁管内」を「根室振興局管内」に、「釧路支庁管内」を「釧路総合振興局管内」に改める。

六つ目は、教育長の給与及び旅費並びに勤務時間等に関する条例の一部改正です。

第6条、教育長の給与及び旅費並びに勤務時間等に関する条例（昭和31年別海村条例第13号）の一部を次のように改正する。

別表中「根室支庁管内」を「根室振興局管内」に、「釧路支庁管内」を「釧路総合振興局管内」に改める。

附則としまして、この条例は、平成22年4月1日から施行するものでございます。

以上で、議案第20号の内容説明を終わります。

議長（渡邊政吉君） 議案第20号の内容説明が終わりましたので、本件の質疑を行います。

質疑に入ります。

（「なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 質疑を終わります。

これから、討論に入ります。討論ございますか。

（「なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 討論を終わります。

これから、採決いたします。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 御異議なしと認めます。

したがって、議案第20号は原案のとおり可決されました。

### 日程第3 議案第21号

議長（渡邊政吉君） 日程第3 議案第21号別海町監査委員条例の一部を改正する条例の制定についてを議題といたします。

内容について説明を求めます。

総務課長。

総務課長（松本光永君） 議案第21号の内容説明を申し上げます。

本議案は、近年の地方を取り巻く環境が、地方分権の推進に向けて地方公共団体の財政の健全化に関する法律が施行され、さらには、地方自治体における自立と責任を確立する

ためのチェック機能の充実や、歳出全般にわたる徹底した見直しと政策の重点化、効率化が求められており、町の行財政運営に対する町民の関心はますます高くなってきております。

また、定期監査、行政監査、財政的支援団体の調査のほか、近年、監査委員の監査範囲が広がっており、監査機能の充実・強化の観点から、このたび、現行の監査委員2名体制に識見委員1名を増員するため、条例改正をするものであります。

それでは、議案の朗読により内容説明をさせていただきます。

議案書の21ページをお開き願います。

別海町監査委員条例の一部を改正する条例。

別海町監査委員条例（平成9年別海町条例第3号）の一部を次のように改正する。

第2条中「2人」を「3人」に改める。

第13条を第14条とし、第3条から第12条までを1条ずつ繰り下げ、第2条の次に次の1条を加える。

代表監査委員。

第3条、法第199条の3第1項に規定する代表監査委員は、監査委員の合議により選出するものとする。

附則としまして、この条例は、平成22年4月1日から施行するものとなります。

以上で、議案第21号の内容説明を終わります。

議長（渡邊政吉君） 議案第21号の内容説明が終わりましたので、本件の質疑を行います。

質疑に入ります。

（「なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 質疑を終わります。

これから、討論に入ります。

（「なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 討論を終わります。

これから、採決いたします。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 御異議なしと認めます。

したがって、議案第21号は原案のとおり可決されました。

#### 日程第4 議案第22号から日程第6 議案第24号まで

議長（渡邊政吉君） 日程第4 議案第22号別海町議会議員の議員報酬額及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について、日程第5 議案第23号特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について、日程第6 議案第24号教育長の給与及び旅費並びに勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例の制定についての3件については、関連がありますので一括議題といたします。

内容について、順次説明を求めます。

総務課長。

総務課長（松本光永君） 議案第２２号から第２４号までの３件につきましては、関連がありますので、一括して内容説明を申し上げます。

今回の条例の一部改正につきましては、平成２１年５月２７日に提案した、議員、特別職、教育長などの６月支給時の期末手当の支給率につきましては、人勤の特例措置により制定附則による読みかえ規定で対応しておりましたが、本年６月に支給する期末手当の支給率を１００分の２０引き下げ、それぞれ本則において改正するものであります。

それでは、議案書の朗読により内容説明をさせていただきます。

議案書の２２ページをお開き願います。まず、議案第２２号でございます。

別海町議会議員の議員報酬額及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例。

別海町議会議員の議員報酬額及び費用弁償等に関する条例（昭和２２年別海村条例第１号）の一部を次のように改正する。

第６条第２項第１号中「１００分の１４５」を「１００分の１２５」に改める。

附則としまして、この条例は、平成２２年４月１日から施行するというものでございます。

以上で、議案第２２号の内容説明を終わります。

次に、２３ページとなります。議案第２３号です。

特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例。

特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例（昭和４０年別海村条例第２６号）の一部を次のように改正する。

第４条第４項第１号中「１００分の２１０」を「１００分の１９０」に改める。

附則としまして、この条例は、平成２２年４月１日から施行するというものでございます。

以上で、議案第２３号の内容説明を終わります。

最後になりますが、議案書の２４ページをお開き願います。議案第２４号です。

教育長の給与及び旅費並びに勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例。

教育長の給与及び旅費並びに勤務時間等に関する条例（昭和３１年別海村条例第１３号）の一部を次のように改正する。

第３条第４項第１号中「１００分の２１０」を「１００分の１９０」に改める。

附則としまして、この条例は、平成２２年４月１日から施行するというものでございます。

なお、議案第２２号、２３号、２４号の条例改正の新旧対照表を、議案資料の１ページ、２ページ、３ページにそれぞれ載せております。アンダーライン部分が今回の改正点となりますので、後ほどごらんいただきたいと思います。

以上で、議案第２２号、２３号、２４号の３件についての内容説明を終わります。

議長（渡邊政吉君） 議案第２２号から議案第２４号までの３件について、内容説明が終わりましたので、これから一括質疑を行います。

質疑に入ります。

（「なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 質疑を終わります。

議案第２２号別海町議会議員の議員報酬額及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定についての討論に入ります。

（「なし」の声あり）



議長（渡邊政吉君） 討論を終わります。

これから、採決いたします。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 御異議なしと認めます。

したがって、議案第 22 号は原案のとおり可決されました。

議案第 23 号特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定についての討論に入ります。

（「なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 討論を終わります。

これから、採決いたします。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 御異議なしと認めます。

したがって、議案第 23 号は原案のとおり可決されました。

議案第 24 号教育長の給与及び旅費並びに勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例の制定についての討論に入ります。

（「なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 討論を終わります。

これから、採決いたします。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 御異議なしと認めます。

したがって、議案第 24 号は原案のとおり可決されました。

#### 日程第 7 議案第 25 号

議長（渡邊政吉君） 日程第 7 議案第 25 号職員の勤務時間及び休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定についてを議題といたします。

内容について説明を求めます。

総務課長。

総務課長（松本光永君） 議案第 25 号の内容説明を申し上げます。

本議案は、公務において特に長い時間外勤務を抑制し、時間外勤務を命ぜられた職員に休息の機会を与えるため、月 60 時間を超える時間外勤務に係る手当の支給割合を引き上げるとともに、当該支給割合の引き上げ分の支給にかえて、正規の勤務時間においても勤務することを要しない日、または、時間、代替休を指定することができる制度が昨年 8 月 11 日の人事院勧告で示され、改正地方公務員法も本年 4 月 1 日から施行されることになっておりまして、本町職員の勤務時間及び休暇に関する条例につきましても改正を行おうとするものであります。

それでは、議案説明をさせていただきます。

議案の朗読は省略させていただき、議案資料により説明させていただきます。

議案資料の 4 ページをお開き願います。

議案第 25 号資料、職員の勤務時間及び休暇等に関する条例の一部を改正する別海町条例

新旧対照表でございます。対照表の左側が改正後の条例となります。

第8条、休日の代替日中、アンダーライン部分の第16条の2第1項の規定により「時間外勤務代休時間が指定された勤務日等及び休日を除く」が追加になる文言で、休日に勤務した代休日として休日のみ除かれていたものに、時間外勤務、代休時間を加えるものです。

第2項は、変更がありませんので説明を省略させていただきます。

次に、第16条の2ですが、時間外勤務、代休時間について、月に60時間を超える時間外勤務を行った場合、超えた時間手当のかわりに代休時間の取得にかえられる制度を示した1条を加えるものです。

附則としまして、この条例は、平成22年4月1日から施行するというものであります。

以上で、議案第25号の内容説明を終わります。

議長（渡邊政吉君） 議案第25号の内容説明が終わりましたので、本件の質疑を行います。

質疑に入ります。

（「なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 質疑を終わります。

これから、討論に入ります。

（「なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 討論を終わります。

これから、採決いたします。

本案を、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 御異議なしと認めます。

したがって、議案第25号は原案のとおり可決されました。

#### 日程第8 議案第26号

議長（渡邊政吉君） 日程第8 議案第26号別海町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定についてを議題といたします。

内容について説明を求めます。

総務課長。

総務課長（松本光永君） 議案第26号の内容説明を申し上げます。

本議案につきましても、公務において特に長い時間外勤務を抑制し、時間外勤務を命ぜられた職員に休息の機会を与えるため、月60時間を超える時間外勤務に係る手当の支給割合を引き上げるとともに、当該時間外勤務手当の支給にかえて、時間外勤務、代休時間を取得した場合も給与の減額をしない制度となっていること。また、昨年5月27日開催の臨時町議会において、同年6月の期末手当を制定附則で実施していることから、平成22年以降6月に支給する期末手当の支給率の引き下げを行うため、職員の給与に関する条例の一部改正を行おうとするものであります。

それでは、議案説明させていただきます。

議案の朗読は省略させていただき、議案資料により説明させていただきます。

議案資料の5ページをお開き願います。

議案第26号資料、別海町職員の給与に関する条例の一部を改正する別海町条例新旧対照表でございます。対照表の左側が改正後の条例となります。

第10条は、給与の減額についてでございますが、左側の改正点に示しておりますように、時間外勤務手当にかえて代休の取得を認め、手当支給割合の減額を行おうというものでございます。

次に、条例第11条の時間外勤務手当ですが、左側の改正点に示しておりますように、第5項は、60時間を超える時間外勤務を行った場合、超えた時間に対する手当の支給割合を示したものです。

第6項は、職員の勤務時間及び休暇等に関する条例中、第16条の2の規定により時間外勤務代休時間を取得した場合、手当の支給割合を示したものです。

第7項は、再任用短時間勤務職員が時間外勤務代休時間を取得した場合の時間外勤務手当の支給割合を示したものです。

次に、第16条、期末手当につきましては、左側の改正点に示しておりますように、第2項では、職員を100分の15、第3項では、再任用職員を100分5、それぞれ平成22年度6月以降の支給率を引き下げるものです。

次に、条例第17条、勤勉手当につきましては、第2項第2号中、再任用職員の6月、12月に支給する勤勉手当の支給率を、それぞれ100分35に改正するもので、支給率の変更はありません。

附則としまして、この条例は、平成22年4月1日から施行するというものであります。

以上で、議案第26号の内容説明を終わります。

議長（渡邊政吉君） 議案第26号の内容説明が終わりましたので、本件の質疑を行います。

質疑に入ります。

11番中村議員。

11番（中村忠士君） 全員協議会の場合でもお聞きをしたのですが、少しあいまいな部分がありましたので、改めてお聞きをしたいというふうに思います。

この条例案の中には、6月手当の0.2カ月分削減を固定化するという内容が含まれているわけですが、12月手当分も含めると0.35カ月の削減ということになります。これがどういう影響を与えるかということで数字をお聞きをしたわけですが、若干不明確な部分もありましたので改めてお聞きしますが、一般会計の補正予算書から類推すると、この0.35カ月分の削減によって、職員の給与が3,550万円ほど一般会計の部分についてだけとってみても、それだけの影響があるというふうに理解をしています。そこから類推すると、恐らく、全職員ということになれば5,000万円を超える影響ということになるのではないかと類推するわけですが、その点を確認させていただきたいと思っております。

議長（渡邊政吉君） 総務課長。

総務課長（松本光永君） ただいまの質問にお答えします。

昨年11月時にもお答えしていたかと思いますが、議会議員の分で150万6,557円、それから、特別職につきましては78万6,424円、職員の一般分につきましては5,247万1,730円、消防職員につきましては450万6,922円、葬祭組合職員につきましては10万9,980円で、トータル5,938万1,613円の給与と

期末勤勉手当を合わせた減額の数字になっております。

以上でございます。

議長（渡邊政吉君） 中村議員。

11番（中村忠士君） 全体で言うと6,000万円近く、職員の部分だけで言っても5,000万円を超えるということが確認されたわけですが、地域経済にとっても非常に大きい問題ではないかなというふうに思います。地域経済に与える影響、これについて、町当局、特に町長はどのように考えておられるかお聞きします。

議長（渡邊政吉君） 町長。

町長（水沼 猛君） 中村議員の御質問にお答えしたいと思います。もちろん地域経済に影響があることは我々も否定はいたしません。しかしながら、やはり我々の町としては、今までも人事院勧告に基づいて給与の問題も決めてきておりますので、まずそれに従うということも大事だと思いますし、それから、やはり一般の民間の皆さんの給与も、今、地域経済も厳しい、そして所得もそういう中で減ってきている、そういう現状もあります。そういうことから考えても、やはりこの人事院勧告に基づいた、給与の減額になりますけれども、そのことについてはやらなければならない、そういうふうに我々も考えておりますので、このたびの条例の改正に至ったということでございます。

議長（渡邊政吉君） ほかに質問ございますか。

（「なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） ないようですので、質疑を終わります。

これから、討論に入ります。ないですか。

まず、原案に反対者の発言を許します。

中村議員。

11番（中村忠士君） 反対であります。ただいまから理由を申し上げます。

当条例案には、昨年5月の臨時会において、6月手当の0.2カ月分削減を臨時的に決めたものについて、本則に載せ固定化するという内容が含まれています。12月手当の削減と合わせて0.35カ月分の削減となり、全体的には5,000万円以上、職員にとっては1人当たり平均して年間12万円程度の収入減ということになります。

ことしの1月末に発表された総務省の家計調査というものがありますけれども、2人以上の勤労者世帯の09年の平均年収は約622万円であって、13年前の97年と比較すると92万円の減少になっています。その上、厚生年金や健康保険料の引き上げ、介護保険料の新たな負担、定率減税や配偶者控除の廃止などの増税が行われておって、平均的な勤労者世帯、4人家族の平均モデルで、年額23万円の負担増になっています。前日の収入減92万円と合わせると115万円も可処分所得が減ったということになります。

このように勤労者の所得が低下し続け、その一方で、大企業の内部留保金は、この10年間で80兆円もふえており、こうしたいびつさが、現在の深刻なデフレ、不況の原因となっています。こうした時期に、生活保護費など社会的影響も強く、さらに中小零細企業などに働く労働者への波及効果も大きい公務員賃金の引き下げを行うことは、際限のない賃金引き下げ、貧困化を加速させることにつながっていきます。

また、消費縮小に悩む地域経済にも多大な悪影響を与えることになります。町財政の厳しさ、あるいは先ほど町長が答弁されたように、人事院勧告に従うという立場についてはある程度理解をするわけでありますが、さきの議会において、今回の人事院勧告は非常に政治的な思惑が先行して、適正な公正な判断となっていないということも私申し上げ

げましたけれども、そういう全体的な問題、影響を考えると、これ以上、町職員を経済的に痛めつけることはすべきではないということを申し上げて、当条例案に対する反対討論といたします。

以上です。

議長（渡邊政吉君） 次に、原案に賛成者の発言を許します。

討論ございますか。

（「なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） ないようですので、これで、討論を終わります。

これから、採決いたします。

本件については、起立により採決いたします。

本案を、原案のとおり決定することに賛成する議員の起立を求めます。

（賛成者起立）

議長（渡邊政吉君） 起立多数であります。

したがって、議案第２６号は原案のとおり可決されました。

#### 日程第９ 議案第２７号

議長（渡邊政吉君） 日程第９ 議案第２７号職員の分限に関する条例の一部を改正する条例の制定についてを議題といたします。

内容について説明を求めます。

総務課長。

総務課長（松本光永君） 議案第２７号の内容説明を申し上げます。

本議案は、地方公務員法第１６条第２号の規定により、禁固刑以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで、またはその執行を受けることがなくなるまでの者は、刑の執行を猶予された場合でも自動失職となりますが、同法第２８条第４項の規定においては、条例に特別な定めがある場合を除くほか、その職を失うと定められていることから、このたび、その罪が業務上の過失によるものであり、かつ、刑の執行を猶予された場合は、情状により失職しないようにすることができる、また、執行猶予が取り消されたときは失職とする条文を加えようとするものであります。

それでは、議案内容を説明させていただきます。

議案の朗読は省略させていただき、議案資料により説明させていただきます。

議案資料の６ページをお開き願います。

職員の分限に関する条例の一部を改正する別海町条例新旧対照表でございます。

第４条に次の１条を加え、第５条を第６条に改めるものでございます。

第５条、失職の例外。

任命権者は、法第１６条第２号の規定に該等するに至った職員のうち、その罪が職務上の過失によるものであり、かつ、刑の執行を猶予された職員については、情状により特にその職を失わないものとする事ができる。

第２項、全項の場合において、当該刑の執行猶予が取り消されたときは、その日においてその職を失うものとするものとするものでございます。

附則としまして、この条例は、平成２２年４月１日から施行するというものでございます。

以上で、議案第２７号の内容説明を終わります。

議長（渡邊政吉君） 議案第 27 号の内容説明が終わりましたので、本件の質疑を行います。

質疑に入ります。

（「なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 質疑を終わります。

これから、討論に入ります。

（「なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 討論を終わります。

これから、採決いたします。

本案を、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 御異議なしと認めます。

したがって、議案第 27 号は原案のとおり可決されました。

#### 日程第 10 議案第 28 号

議長（渡邊政吉君） 日程第 10 議案第 28 号別海町奨学資金支給条例の一部を改正する条例の制定についてを議題といたします。

内容について説明を求めます。

総務課長。

総務課長（松本光永君） 議案第 28 号の内容説明を申し上げます。

本議案は、近年、医師並びに看護師の確保が大変厳しい状況にあり、特に医師につきましては、平成 16 年 4 月から医科大学卒業後 2 年間ではありますが、臨床研修制度が取り入れられ義務化されております。その後、さらに任意ではありますが、2 年から 3 年の臨床研修を行っているのが実態とされております。

このような状況の中で、近年、医師を初め医療スタッフの確保が非常に厳しくなっており、今後も医療体制の充実を図る観点から、現行の奨学資金の支給額について、道内の自治体の制度も勘案し改正したいとするものであります。

それでは、議案の朗読により内容説明をさせていただきます。

議案書の 31 ページをお開き願います。

別海町奨学資金支給条例の一部を改正する条例。

別海町奨学資金支給条例（昭和 44 年別海村条例第 42 号）の一部を次のように改正する。

第 5 条第 1 号中「15 万円」を「20 万円」に改め、同条第 4 号中「3 万円」を「6 万円」に改める。

第 8 条中「医師、歯科医師については 5 年以上、その他の技術専攻の者については 3 年以上」を「5 年以上」に改める。

附則としまして、この条例は公布の日から施行し、改正後の第 5 条及び第 8 条の規定は、平成 22 年 4 月 1 日から施行するものとさせていただきます。

なお、議案資料の 7 ページに新旧対照表を載せておりますので、御参照いただきたいと思います。

以上で、議案第 28 号の内容説明を終わります。

議長（渡邊政吉君） 議案第 28 号の内容説明が終わりましたので、本件の質疑を行い

ます。

質疑に入ります。

(「なし」の声あり)

議長(渡邊政吉君) 質疑を終わります。

これから、討論に入ります。

(「なし」の声あり)

議長(渡邊政吉君) 討論を終わります。

これから、採決いたします。

本案を、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

議長(渡邊政吉君) 御異議なしと認めます。

したがって、議案第28号は原案のとおり可決されました。

#### 日程第11 議案第29号

議長(渡邊政吉君) 日程第11 議案第29号別海町地域防災センター設置条例の一部を改正する条例の制定についてを議題といたします。

内容について説明を求めます。

総務課参事。

総務課参事(大島 登君) 議案第29号の内容を説明申し上げます。

このたびの条例改正は、本別海地域防災センターの設置に伴い、条例の一部を改正するものでございます。

本別海地区において津波や高潮などの災害から地域住民の安全を守るため、避難施設の建設を進めておりましたが、この1月に完成に至ったところであります。施設は本別海地域防災センターの名称で、平常時は防災活動の拠点施設として、災害などの非常時には避難所として活用を図るものでございます。

改正の内容は、第2条、名称1に本別海地域防災センターを追加するものでございます。また、床丹地域防災センターの位置である地番に誤りを確認したことから、大変申しわけありませんが、改めさせていただくものであります。

議案書の32ページをお開きください。

議案内容を朗読させていただきます。

別海町地域防災センター設置条例の一部を改正する条例。

別海町地域防災センター設置条例の一部を次のように改正する。

第2条の表中、名称、走古丹地域防災センター、位置、別海町走古丹1番地44、床丹地域防災センター、別海町床丹4番地45を、名称、走古丹地域防災センター、位置、別海町走古丹1番地44、床丹地域防災センター、別海町床丹4番地46、本別海地域防災センター、別海町本別海2番地155に改める。

附則として、この条例は、公布の日から施行するものでございます。

以上で、議案第29号の内容説明を終わります。

議長(渡邊政吉君) 議案第29号の内容説明が終わりましたので、本件の質疑を行います。

質疑に入ります。

(「なし」の声あり)

議長（渡邊政吉君） 質疑を終わります。

これから、討論に入ります。

（「なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 討論を終わります。

これから、採決いたします。

本案を、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 御異議なしと認めます。

したがって、議案第 29 号は原案のとおり可決されました。

#### 日程第 12 議案第 30 号

議長（渡邊政吉君） 日程第 12 議案第 30 号別海町町税条例の一部を改正する条例の制定についてを議題といたします。

内容について説明を求めます。

税務課長。

税務課長（干場俊昭君） 議案第 30 号別海町町税条例の一部を改正する条例の制定についての内容を説明いたします。

議案書の 34 ページをお開き願います。

本案は、別海町町税条例第 155 条に規定する入湯税の税率を改正したいとするものであります。入湯税は、地方税法第 701 条に鉱泉浴場所在の市町村は、環境衛生施設、鉱泉源の保護管理施設及び消防施設、その他消防活動に必要な施設の整備並びに観光の振興に要する費用に充てるため、鉱泉浴場における入湯に対し、入湯客に入湯税を課するものと規定されている目的税であります。

また、入湯税の税率は地方税法第 701 条の 2 の規定により、入湯客 1 人 1 日について 150 円を標準するとあります。これは、いわゆる標準税率であり、地方税法第 1 条に地方団体が課税する場合に、通常よるべき税率で、その財政上、その他の必要があると認める場合においては、これによることを要しない税率を言うことあり、自治体によって標準税率を超えた、あるいは標準以下の税率を採用することが可能とされております。

さらに、地方税法第 6 条に、公益上、その他の事由により必要がある場合においては、不均一の課税をすることができるとあります。本町は標準税率を適用しておりますが、全道的には標準税率以下の税率を適用している鉱泉浴場所在市町村も多く、また、宿泊と日帰りを区別して不均一の課税を適用し、日帰りの税率を設定するなど、入湯客の税負担の軽減を行っている鉱泉浴場所在市町村もまた多い実態にあります。なお、このことは管内においても同様であります。

これらの状況をかんがみて、本町の現行の入湯客 1 人 1 日 150 円の税率を宿泊 1 日 100 円に引き下げ、さらに不均一の課税を適用して、日帰り 50 円を設定しようとするものであります。

それでは、改正条文の朗読をいたします。

別海町町税条例の一部を改正する条例。

別海町町税条例（昭和 31 年別海村条例第 1 号）の一部を次のように改正する。

第 155 条中「入湯客 1 人 1 日について 150 円とする」を「入湯客 1 人について次の区分による」に改め、同条に次の各号を加える。



1号、宿泊1日について100円。

2号、日帰り50円。

附則としまして、この条例は、平成22年4月1日から施行するとするものであります。

以上で、議案第30号の内容説明を終わります。

議長（渡邊政吉君） 議案第30号の内容説明が終わりましたので、本件の質疑を行います。

質疑に入ります。

（「なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 質疑を終わります。

これから、討論に入ります。

（「なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 討論を終わります。

これから、採決いたします。

本案を、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 御異議なしと認めます。

したがって、議案第30号は原案のとおり可決されました。

#### 日程第13 議案第31号

議長（渡邊政吉君） 日程第13 議案第31号別海町重度心身障害者及びひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定についてを議題といたします。

内容について、説明を求めます。

町民課長。

町民課長（斎藤英彦君） 議案第31号別海町重度心身障害者及びひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について内容説明をいたします。

本件につきましては、昨年12月に身体障害者福祉法施行令の一部改正が行われ、本年4月1日から政令で定める障害に肝臓機能障害が新たに身体障害者の認定基準に追加されたところでございます。この改正に伴い、本条例の重度心身障害者の定義に肝臓機能障害を追加し、条文の整理を行うものでございます。

改正内容につきましては、議案資料により説明させていただきますので、議案資料の8ページをお開き願います。

別海町重度心身障害者及びひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例新旧対照表でございます。

右側が現行条例、左側が改正案で、下線の部分が今回改正しようとするところでございます。

第2条、定義でございます。

第1項第1号中、下段のほうの括弧内になりますが、改正前「若しくは小腸若しくはヒト免疫不全ウイルスによる免疫」を「、小腸、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫若しくは肝臓」に改める。

附則といたしまして、この条例は、平成22年4月1日から施行するというものでござ

います。

以上で、議案第 3 1 号の内容説明を終わります。

議長（渡邊政吉君） 議案第 3 1 号の内容説明が終わりましたので、本件の質疑を行います。

質疑に入ります。

（「なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 質疑を終わります。

これから、討論に入ります。

（「なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 討論を終わります。

これから、採決いたします。

本案を、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 御異議なしと認めます。

したがって、議案第 3 1 号は原案のとおり可決されました。

#### 日程第 1 4 議案第 3 2 号

議長（渡邊政吉君） 日程第 1 4 議案第 3 2 号別海町障害者地域生活支援事業条例の一部を改正する条例の制定についてを議題といたします。

内容について説明を求めます。

福祉課長。

福祉課長（笠原悦雄君） 議案第 3 2 号別海町障害者地域生活支援事業条例の一部を改正する条例の制定についての内容を説明いたします。

政府は障害者自立支援法を廃止し、制度の谷間がなく、利用者の応能負担を基本とする総合的な制度をつくるということで、今検討が進められております。この新たな総合的な制度をつくるまでの間、平成 2 2 年度から障害者自立支援法において、低所得市町村民税非課税の障害者等への福祉サービス及び補装具に係る利用者負担は無料の措置がとられることとなりました。

これらのサービスと均衡を図るため、別海町障害者生活支援事業条例で定めております利用者負担金についても、低所得者については実質的に無料化するため、条例の一部を改正しようと改正を行うものであります。

議案資料の 9 ページに新旧対照表がございますので、参照にさせていただきたいと思えます。

それでは、条例案を朗読し提案にかえたいと思えます。

別海町障害者地域生活支援事業条例の一部を改正する条例。

別海町障害者地域生活支援事業条例（平成 1 8 年別海町条例第 3 5 号）の一部を次のように改正する。

第 1 1 条第 1 項中「又は一部」を削る。

別表第 3、市町村民税非課税世帯で、障害者の収入が年収 8 0 万円以下の項を削り、同表市町村民税非課税世帯の項中「2 万 4 , 6 0 0 円」を「0 円」に改める。

附則といたしまして、この条例は、平成 2 2 年 4 月 1 日から施行するというものでございます。

以上で、議案第 3 2 号の内容説明を終わります。

議長（渡邊政吉君） 議案第 3 2 号の内容説明が終わりましたので、本件の質疑を行います。

質疑に入ります。

（「なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 質疑を終わります。

これから、討論に入ります。

（「なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 討論を終わります。

これから、採決いたします。

本案を、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 御異議なしと認めます。

したがって、議案第 3 2 号は原案のとおり可決されました。

#### 日程第 1 5 議案第 3 3 号

議長（渡邊政吉君） 日程第 1 5 議案第 3 3 号別海町立へき地保育園条例の一部を改正する条例の制定についてを議題といたします。

内容について説明を求めます。

福祉課長。

福祉課長（笠原悦雄君） 議案第 3 3 号別海町立へき地保育園条例の一部を改正する条例の制定についての内容説明を行います。

床丹、本別海、走古丹地区は、1 学校区に 3 カ所のへき地保育園がありますが、3 園とも園児数が減少し、10 名を割るような状況になっております。こうなりますと、次世代育成支援対策交付金 1 カ所当たり 200 万円が交付されない状況が予想されることから、平成 20 年 2 月に床丹へき地保育園、走古丹へき地保育園を平成 21 年 3 月 31 日をもって閉園する方針を地元町内会や母の会に説明をいたしました。

その後、へき地保育園の存続や閉園延期の要望がありましたが、少子化や町財政の現状を重ねて説明し、閉園の時期を平成 22 年 3 月 31 日でということで理解を求めてまいりました。平成 22 年 1 月 25 日、地元の両町内会及び母の会から町の方針を承諾していただいたことから、平成 22 年 3 月 31 日をもって床丹へき地幼稚園及び走古丹へき地保育園を閉園すべく、別海町立へき地保育園条例の一部を改正しようとするものでございます。

議案資料の 10 ページに新旧対照表がございますので、参照にしていきたいと思います。

それでは、条例案を朗読し提案にかえたいと思います。

別海町立へき地保育園条例の一部を改正する条例。

別海町立へき地保育園条例（昭和 41 年別海村条例第 20 号）の一部を次のように改正する。

第 2 条の表中、床丹へき地保育園の項及び走古丹へき地保育園の項を削る。

附則といたしまして、この条例は、平成 22 年 4 月 1 日から施行するというものでございます。

以上で、議案第 3 3 号の内容説明を終わります。

議長（渡邊政吉君） 議案第 3 3 号の内容説明が終わりましたので、本件の質疑を行います。

質疑に入ります。

（「なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 質疑を終わります。

これから、討論に入ります。

（「なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 討論を終わります。

これから、採決いたします。

本案を、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 御異議なしと認めます。

したがって、議案第 3 3 号は原案のとおり可決されました。

#### 日程第 1 6 議案第 3 4 号

議長（渡邊政吉君） 日程第 1 6 議案第 3 4 号別海町ケアハウス条例の一部を改正する条例の制定についてを議題といたします。

内容について説明を求めます。

福祉課参事。

福祉課参事（清尾昌弘君） 議案第 3 4 号の内容説明を申し上げます。

議案書の 3 8 ページをお開きください。

別海町ケアハウス条例の一部を改正する条例。

別海町ケアハウス条例の一部を次のように改正する。

別表を別記のように改める。

附則、この条例は、平成 2 2 年 4 月 1 日から施行する。

3 9 ページの別表の使用料（1 人月額）の改正は、厚生労働省令の経費老人ホーム、設備及び運営に関する基準と、北海道要綱の軽費老人ホーム利用料に関する基準の一部改正に伴い改正するものです。

主な改正内容は、議案資料の 1 1 ページの新旧対照表で御説明いたします。

別海町ケアハウス条例の一部を改正する別海町条例新旧対照表の別表中の字句の改正は、事務費をサービスの提供に要する費用に、管理費を居住に要する費用に、これは省令等に準じて改正します。

使用料の金額の改正は、対象収入による階層区分 7 の事務費 8 万 7, 0 0 0 円を、サービスの提供に要する費用の対象収入による階層区分 7 全額に、これは北海道の要綱に準じて改正します。

生活費の 4 万 2, 5 8 0 円を 4 万 2, 4 9 0 円に、9 0 円減額します。

備考欄の冬期加算額 7, 8 9 0 円を 7, 8 8 0 円、1 0 円減額します。一部改正により、区分 1 の方は冬期間 1 0 0 円利用料が安くなります。

以上で、議案第 3 4 号の内容説明を終わります。

議長（渡邊政吉君） 議案第 3 4 号の内容説明が終わりましたので、本件の質疑を行います。

質疑に入ります。

瀧川議員。

5番（瀧川榮子君） お聞きます。7のサービス提供に要する費用全額というのがあるのですけれども、今まででしたら8万7,000円というふうに金額が指定されていて、310万円以上の収入がある方もいらっしゃると思うのですけれども、金額が設定されていないことは、入居される方にとってかなり不安だと思うのですけれども、入居する時点でこの金額というのは示されることになるのでしょうか。

議長（渡邊政吉君） 福祉課参事。

福祉課参事（清尾昌弘君） サービス提供に要する費用の全額は、省令等で入居者定員数、単独施設等で上限額が決まっております。別海町のケアハウスの場合、現時点での費用の全額は8万6,400円となります。現在8万7,000円ですので、全額ということでは表示されていますが、600円、事実上安くなっている形になります。

それから、ケアハウスの入居者12月末現在で、定員30人に対し29人入所しております。対象収入による階層区分1の方が28人、それから、階層区分4の方が1人となっており、階層区分7の方は今まで入所していません。

以上です。

大変失礼しました。先ほど言いました北海道の要綱、それが改正になるたびごとに改正することは可能です。ただ、道の要綱も全額ということになっているのですが、国のほうの厚生省の省令の部分で数字が示されます。その額が先ほど言った定員数とか、単独施設とか、そういう部分で変わるのです。そういうことで、そのたびごとに改正することは可能ですけれども、北海道の要綱に準じて全額という形で、今回改正しております。

以上です。

議長（渡邊政吉君） ほかに質問ございますか。

（「なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 質疑を終わります。

これから、討論に入ります。

（「なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 討論を終わります。

これから、採決いたします。

本案を、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 御異議なしと認めます。

したがって、議案第34号は原案のとおり可決されました。

ここで、10分間休憩いたします。

午前11時05分 休憩

午前11時15分 再開

議長（渡邊政吉君） 休憩前に引き続き、会議を再開いたします。

委員会付託省略の議決

議長（渡邊政吉君） ここで、お諮りいたします。

提出されております日程第17 議案第35号から日程第20 議案第38号まで及び

日程第 2 2 議案第 4 0 号から日程第 3 1 諮問第 1 号までの合わせて 1 4 件については、会議規則第 3 9 条第 3 項の規定に基づき、委員会の付託は省略いたしたいと思えます。これに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

議長(渡邊政吉君) 御異議なしと認めます。

したがって、日程第 1 7 議案第 3 5 号から日程第 2 0 議案第 3 8 号まで及び日程第 2 2 議案第 4 0 号から日程第 3 1 諮問第 1 号までの合わせて 1 4 件については、委員会の付託は省略することに決定いたしました。

日程第 1 7 議案第 3 5 号から日程第 1 9 議案第 3 7 号まで

議長(渡邊政吉君) 日程第 1 7 議案第 3 5 号別海町営住宅条例の一部を改正する条例の制定について、日程第 1 8 議案第 3 6 号別海町地域振興住宅条例の一部を改正する条例の制定について、日程第 1 9 議案第 3 7 号別海町特定公共賃貸住宅条例の一部を改正する条例の制定についての 3 件については、関連がありますので一括議題といたします。

内容について、順次説明を求めます。

管理課長。

管理課長(木村功男君) 議案第 3 5 号別海町営住宅条例の一部を改正する条例の制定について、議案第 3 6 号別海町地域振興住宅条例の一部を改正する条例の制定について及び議案第 3 7 号別海町特定公共賃貸住宅条例の一部を改正する条例の制定について、関連がございますので一括して御説明いたします。

本条例の改正につきましては、平成 1 9 年 4 月に東京都町田市の都営住宅において、暴力団員による立てこもり発砲事件の発生を受け、国土交通省住宅局より公営住宅からの暴力団排除の基本方針を示す通知が出されたことにより、北海道は平成 2 0 年 4 月、公営住宅の暴力団排除についての北海道公営住宅条例の改正を行いました。この道の公営住宅条例の改正を受け、道内の自治体も条例改正を行っておりますが、本町におきましても町営住宅等の入居者及び周辺住民の生活の安全と平穩を確保するために、条例の一部を改正しようとするものでございます。

条例の改正する条文の内容につきましては、議案資料で御説明いたします。

議案資料 1 3 ページをお開きください。条文の要点のみ御説明させていただきます。

最初に、議案第 3 5 号別海町営住宅条例の一部を改正する別海町条例新旧対照表でございます。右の欄が旧、左の欄が新で、下線の部分を条例に加えるものでございます。

左の欄で御説明いたします。

第 6 条、入居者の資格に第 5 号といたしまして、「暴力団員でないこと」を加え、第 1 2 条、同居の承認、第 1 3 条、入居の承継のそれぞれに、第 2 項といたしまして、「町長は暴力団員であるときは、承認をしてはならない」を加え、第 4 2 条、住宅の明渡請求に第 6 号といたしまして、「入居者が第 7 7 条の規定による勧告に従わなかったとき」を加えるものでございます。

次のページでございます。

上段、第 4 項中、第 5 号を第 6 号に改め、第 5 項の第 6 号を第 7 号に改めます。

第 5 7 条、使用者の資格に第 5 号といたしまして、「入居者又は同居者が暴力団員でないこと」を加えるものでございます。

第 7 5 条を第 7 8 条とし、第 7 6 条を第 7 9 条とし、第 7 4 条の次に 3 条を加えるものでございます。

第 7 5 条、北海道警察本部長の意見の聴取。

町長は北海道警察本部長の意見を聞くことができる。

次のページでございます。

第 7 6 条、町長への意見。

北海道警察本部長は、町長に対し、その旨の意見を述べることができる。

第 7 7 条、勧告。

町長は町営住宅の明け渡し、その他必要な措置をとるべき旨を勧告することができる。

附則といたしまして、この条例は、公布の日から施行するものでございます。

次に、16 ページでございます。

議案第 3 6 号別海町地域振興住宅条例の一部を改正する別海町条例新旧対照表でございます。

同じく、右の欄が旧、左の欄が新で、下線の部分を条例に加えるものでございます。

第 5 条、入居者の資格に第 4 号といたしまして、「暴力団員でないこと」を加え、第 1 0 条、入居の承継に第 2 項といたしまして、「町長は承認をしてはならない」を加え、第 2 1 条、住宅の明渡請求に第 6 号といたしまして、「入居者が第 2 5 条の規定による勧告に従わなかったとき」を加え、第 2 3 条を第 2 6 条とし、第 2 2 条の次に 3 条を加えるものでございます。

第 2 3 条、北海道警察本部長の意見の聴取。

町長は北海道警察本部長の意見を聞くことができる。

第 2 4 条、町長への意見。

北海道警察本部長は町長に対し、その旨の意見を述べることができる。

第 2 5 条、勧告。

町長は振興住宅の明け渡し、その他必要な措置をとるべき旨を勧告することができる。

附則といたしまして、この条例は、公布の日から施行するものでございます。

次に、18 ページでございます。

議案第 3 7 号別海町特定公共賃貸住宅条例の一部を改正する別海町条例新旧対照表でございます。

同じく右の欄が旧、左の欄が新で、下線の部分を条例に加えるものでございます。

第 6 条といたしまして、入居者の資格に第 6 号といたしまして、「暴力団員でないこと」を加え、第 2 5 条、同居の承認に第 2 項といたしまして、「町長は承認をしてはならない」を加え、第 2 7 条、住宅の明渡請求に第 6 号といたしまして、「入居者が第 3 2 条の規定による勧告に従わなかったとき」を加え、第 3 0 条を第 3 3 条とし、第 3 1 条を第 3 4 条とし、第 2 9 条の次に 3 条を加えるものでございます。

第 3 0 条、北海道警察本部長の意見の聴取。

町長は北海道警察本部長の意見を聞くことができる。

第 3 1 条、町長への意見。

北海道警察本部長は町長に対し、その旨の意見を述べることができる。

第 3 2 条、勧告。

町長は特定公共賃貸住宅の明け渡し、その他必要な措置をとるべき旨を勧告することができる。

附則といたしまして、この条例は、公布の日から施行するものでございます。

以上、議案第35号から議案第37号までの内容説明を終わります。

議長（渡邊政吉君） 議案第35号から議案第37号までの3件について、内容説明が終わりましたので、これから一括質疑を行います。

質疑に入ります。

（「なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 質疑を終わります。

これから、議案第35号別海町営住宅条例の一部を改正する条例の制定についての討論に入ります。

（「なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 討論を終わります。

これから、採決いたします。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 御異議なしと認めます。

したがって、議案第35号は原案のとおり可決されました。

これから、議案第36号別海町地域振興住宅条例の一部を改正する条例の制定についての討論に入ります。

（「なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 討論を終わります。

これから、採決いたします。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 御異議なしと認めます。

したがって、議案第36号は原案のとおり可決されました。

これから、議案第37号別海町特定公共賃貸住宅条例の一部を改正する条例の制定についての討論に入ります。

（「なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 討論を終わります。

これから、採決いたします。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 御異議なしと認めます。

したがって、議案第37号は原案のとおり可決されました。

#### 日程第20 議案第38号

議長（渡邊政吉君） 日程第20 議案第38号別海町社会体育施設設置条例の一部を改正する条例の制定についてを議題といたします。

内容について説明を求めます。

社会体育課長。

社会体育課長（斉藤敏幸君） 議案第38号別海町社会体育施設設置条例の一部を改正する条例の制定についての内容について説明いたします。



本件につきましては、平成２１年度で廃校になりました旧美原、旧豊原小学校体育館を、地元地域の要望により地域のスポーツ、レクリエーション、文化活動の拠点にするため、学校施設から社会体育施設に変更し活用するため、条例の一部を改正するものであります。

議案を朗読いたします。

別海町社会体育施設設置条例の一部を改正する条例。

別海町社会体育施設設置条例（昭和５６年別海町条例第１７号）の一部を次のように改正する。

第２条表中、床丹ファミリースポーツハウスの項の次に、「美原体育館、別海町美原４８番地の１、豊原体育館、別海町豊原１７番地の１５」を加える。

附則といたしまして、この条例は、平成２２年４月１日から施行する。

なお、議案資料２０ページから２１ページに条例の新旧の対照表が記載されておりますので、後ほどごらんいただきたいと思います。

以上で、議案第３８号別海町社会体育施設設置条例の一部を改正する条例の制定についての内容説明を終わります。

議長（渡邊政吉君） 議案第３８号の内容説明が終わりましたので、本件の質疑を行います。

質疑に入ります。

（「なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 質疑を終わります。

これから、討論に入ります。

（「なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 討論を終わります。

これから、採決いたします。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 御異議なしと認めます。

したがって、議案第３８号は原案のとおり可決されました。

#### 日程第２１ 議案第３９号

議長（渡邊政吉君） 日程第２１ 議案第３９号別海町小作料協議会条例を廃止する条例の制定についてを議題といたします。

内容について説明を求めます。

農業委員会事務局長。

農業委員会事務局長（千葉俊文君） 議案第３９号別海町小作料協議会条例を廃止する条例の制定について内容説明いたします。

議案の説明に入ります前に、廃止に至る経過と理由について申し述べさせていただきます。

本条例は、昭和２７年法律第２２９号で制定された農地法第２３条の規定に基づき、農地の賃貸借において、農業委員会は、小作料の標準額、また別名、標準小作料とも言いますが、この標準額を定めることとなっております。この小作料の標準となるべき額を設定するに当たって、意見を聞くための諮問機関として別海町小作料協議会を設置するべく、

平成16年3月、別海町条例第16号で制定されたものであります。

しかし、平成21年6月20日に農地法第23条の標準小作料制度を廃止する改正農地法が公布され、平成21年12月15日に各政省令が制定され、改正農地法が施行されたところであります。

今後、農地の賃貸借につきましては、改正農地法第52条に基づき、市町村農業委員会が設定する地域、区域ごとの実勢借地料の平均値、最高・最低値を公表し、情報を提供するという仕組みに変わりました。別海町農業委員会といたしましても、改正農地法の施行を受け、1月号の広報べつかいで、改正農地法の主な改正点と賃借料情報を掲載し周知したところであり、町のホームページでも公表しているところでございます。

以上、申し述べました経過と理由によりまして、別海町小作料協議会条例を廃止しようとするものです。

では、議案第39号別海町小作料協議会条例を廃止する条例の制定についての内容説明に入ります。

内容につきましては、議案の朗読をもって説明とさせていただきます。

議案書50ページ。

別海町小作料協議会条例を廃止する条例。

議案第39号別海町小作料協議会条例（平成16年別海町条例第16号）は廃止する。

附則として、この条例は、公布の日から施行するとするものです。

以上で議案第39号の内容説明を終わります。

議長（渡邊政吉君） 議案第39号の内容説明が終わりましたので、本件の質疑を行います。

質疑に入ります。

11番中村議員。

11番（中村忠士君） この後、産業常任委員会での論議もあるようですので、細部についてはそこに譲りたいというふうに考えますが、町当局の基本姿勢についてお伺いをいたします。

今の説明もありまして、農業委員会の姿勢としても、この標準小作料の制度はなくなったけれども、これまで定めていた小作料の上限、別海町の場合1ヘクタール当たり4万1,000円、これを地域が遵守すべき賃借料の上限額として自主的に設定し、今後の農地流動化事業に取り組んでいくことを確認したという報告も受けており、農業委員会の姿勢としては一定程度強いものがあるというふうに理解をしております。

そこで町当局、特に町長のお考えですね、こういうふうに情報を公開する、そして上限額であるということを提示する、これに基づいて農業委員会はやっていくのだという、一定の決意も述べているということですが、このことに関して絶対的な規制というものがないとは思いますが、そこで、町当局の姿勢というものが大事になってくると思うのです。4万1,000円を超えての賃借ということが仮にあるとすれば、そこに対する規制をどういうふうに考えていくかと。規制するのかもしれないのかということも含めて、町当局の姿勢をお聞きしたいということが1点。

それから、この上限額、平均等について公表していくわけですが、これについては、今後もこういう形で公表されていくのだというふうに思いますけれども、この公平性といいますか、この数字の客観性というものを担保していくことが必要であろうというふうに思うのですけれども、その点での町の考え方をお聞きしたいと思います。

議長（渡邊政吉君） 今の御質問は町長にですか。（「町長に」と発言する者あり）  
町長。

町長（水沼 猛君） 中村議員の御質問にお答えいたしますが、もちろん町といたしましても、農業委員会で決められたことにつきましても当然尊重していきますし、そのことについて我々の農業が、もしそういう、事例が出てきた場合に、越えるような話が出てきた場合については、当然我々、農業の基幹産業の町でございますので、それらがどういうふうにしっかり発展させて維持していくかというのは極めて大事なことでありますので、十分農業委員会の皆さんのそれぞれそういう時点においては、農業委員会の皆さんも協議されると思いますが、どうしていくのか協議も当然されると思いますし、そのことについても我々は尊重してまいりたいと思いますし、場合によっては連携して、農業がしっかりこれからも地域として発展できるような、そして、地域の農業をゆがめるような、いわゆる農業に参入する幅が広がりましたので、そういうような、地域に混乱をさせたり、また、別海の農業の発展に阻害するようなことがないように、当然、町も農業委員会と一緒に連携してやっていく。それはもちろんのことだと思っております。

議長（渡邊政吉君） 中村議員。

11番（中村忠士君） それはそうだなというふうに思うのですが、私が特に聞きたいのは、農地法が改正になって、標準小作制度が一応なくなったということにあります。そういう中で、賃借に関して、いわば財力に任せて上限額を超えるような形で提示をするということも事実上可能でありますね。そういう中で、ルールが非常に荒れてくるというようなことを心配しているわけですが、そこで、それをさせないというのが農業委員会であったり町の姿勢だというふうに思うのです。そこでの歯どめをどうかけていくかということ、具体的にお考えかということを知りたいと思います。もう一度、済みません。

議長（渡邊政吉君） 町長。

町長（水沼 猛君） もちろん農業委員会としてはそれぞれ地域の状況等を考えて、総体的にきちんと賃借料の上限というものを決めておるのだと思いますし、農地の価格にいてもそういう形で決めておりますので、それを大幅に逸脱するようなことがあれば、当然、農業委員会としての本来の、今おっしゃられましたようなことに対して、本来農業委員会の権限の中でやっていかれるだろう、そういうことのないように農業委員会としてやっていかれるだろうと思っておりますし、町としてもそういう姿勢には全面的に協力していきたい、そういうことでございます。

議長（渡邊政吉君） ほかに御質疑ありますか。

（「なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） ないようですので、質疑を終わります。

ただいま議題となっております議案第39号別海町小作料協議会条例の廃止の件は、産業常任委員会に付託します。

## 日程第22 議案第40号

議長（渡邊政吉君） 日程第22 議案第40号町道の路線認定及び廃止についてを議題といたします。

内容について説明を求めます。

管理課長。

管理課長（木村功男君） 議案第４０号町道の路線認定及び廃止についての内容を説明いたします。

本案は、特定防衛施設周辺整備事業の実施計画に伴い、町道の１路線を新設する部分と、既設の部分を整理統合するため、一たん廃止とし、事業実施分を含め、改めて認定をし直すものです。また、新規の認定路線につきましては、同事業の実施計画により３路線を新たに認定するものでございます。

認定する４路線につきましては道路法第８条第２項の規定により、廃止する１路線につきましては同法第１０条第３項の規定に基づき、議会の議決を求めるものでございます。

町道の認定及び廃止にかかわる概要につきましては、議案資料で説明いたします。

議案資料の２２ページを開きください。

既認定路線数は６４４路線で、総延長は１，１９８キロ３０メートル３２センチです。今回の認定分は４路線で７７７メートル８４センチ、今回の廃止分は１路線で２３１メートル６５センチです。これにより、町道の認定路線数は６４７路線、町道の延長５４６メートル１９センチが増となり、町道の総延長は１，１９８キロ５７６メートル５１センチになります。町道の認定廃止路線の位置図は、議案資料２５ページから２８ページに添付しております。説明につきましては省略させていただきます。

以上で、議案第４０号の内容説明を終わります。

議長（渡邊政吉君） 議案第４０号の内容説明が終わりましたので、本件の質疑を行います。

質疑に入ります。

（「なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 質疑を終わります。

これから、討論に入ります。

（「なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 討論を終わります。

これから、採決いたします。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 御異議なしと認めます。

したがって、議案第４０号は原案のとおり可決されました。

#### 日程第２３ 議案第４１号

議長（渡邊政吉君） 日程第２３ 議案第４１号北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更についてを議題といたします。

内容について説明を求めます。

総務課長。

総務課長（松本光永君） 議案第４１号の内容説明を申し上げます。

北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更について。

本件につきましては、本町が加入する組合から構成団体の解散脱退をするほか、団体の名称変更に伴う協議を求められましたので、同法第２９０条の規定により議会の議決を求めるものであります。

それでは、議案の朗読により内容説明をさせていただきます。

議案書の５４ページをお開き願います。

議案第４１号北海道町村議会議員公務災害補償等組合理約の一部を改変する組合理約。

北海道町村議会議員公務災害補償等組合理約（昭和４３年５月１日地方第７２２号指令許可）の一部を次のように改変する。

別表第１中「胆振西部衛生組合」、「釧路広域市町村圏事務組合」及び「留萌広域行政組合」を削り、「留萌市外２町衛生センター組合」を「留萌南部衛生組合」に改める。

附則といたしまして、この組合理約は、地方自治法第２８６条第１項の規定による総務大臣の許可の日から施行するものでございます。

以上で、議案第４１号の内容説明を終わります。

議長（渡邊政吉君） 議案第４１号の内容説明が終わりましたので、本件の質疑を行います。

質疑に入ります。

（「なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 質疑を終わります。

これから、討論に入ります。

（「なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 討論を終わります。

これから、採決いたします。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 御異議なしと認めます。

したがって、議案第４１号は原案のとおり可決されました。

#### 日程第２４ 議案第４２号

議長（渡邊政吉君） 日程第２４ 議案第４２号北海道市町村総合事務組合理約の改変についてを議題といたします。

内容について説明を求めます。

総務課長。

総務課長（松本光永君） 議案第４２号の内容説明を申し上げます。

北海道市町村総合事務組合の組合理約改変について。

本件につきましても、本町が加入する組合から構成団体の解散脱退をするほか、団体の名称改変に伴う協議を求められましたので、同法第２９０条の規定により議会の議決を求めるものであります。

それでは、議案の朗読により内容説明をさせていただきます。

議案書の５５ページをお開き願います。

議案第４２号北海道市町村総合事務組合理約の一部を改変する組合理約。

北海道市町村総合事務組合理約（平成７年３月７日市町村第１９７３号指令）の一部を次のように改変する。

別表第１、第２条関係、留萌支庁の項中「胆振支庁（１４）」を「留萌」支庁（１３）」に、網走支庁の項中「網走支庁（２４）」を「網走支庁（２３）」に、胆振支庁の項中「胆振支庁（１４）」を「胆振支庁（１３）」に改め、市町村・一部事務組合及び広域連合欄中「、留萌広域行政組合」、「、網走支庁管内町村交通災害共催組合」、「、胆振

西部衛生組合」を削り、「、留萌市外 2 町衛生センター組合」を「留萌南部衛生組合」に改める。

別表第 2、第 3 条関係、第 9 項の共同処理する団体欄中「、留萌広域行政組合」、「、網走支庁管内町村交通災害共催組合」、「、胆振西部衛生組合」を削り、「、留萌市外 2 町衛生センター組合」を「留萌南部衛生組合」に改める。

附則といたしまして、この規約は、地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 286 条第 1 項の規定による総務大臣の許可の日から施行するものとございます。

以上で、議案第 42 号の内容説明を終わります。

議長（渡邊政吉君） 議案第 42 号の内容説明が終わりましたので、本件の質疑を行います。

質疑に入ります。

（「なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 質疑を終わります。

これから、討論に入ります。

（「なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 討論を終わります。

これから、採決いたします。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 御異議なしと認めます。

したがって、議案第 42 号は原案のとおり可決されました。

#### 日程第 25 議案第 43 号

議長（渡邊政吉君） 日程第 25 議案第 43 号北海道市町村職員退職手当組合格約の変更についてを議題といたします。

内容について説明を求めます。

総務課長。

総務課長（松本光永君） 議案第 43 号の内容説明を申し上げます。

北海道市町村職員退職手当組合格約の変更について。

本件につきましては、本町が加入する組合から構成団体が解散脱退をするため、団体の規約変更に伴う協議を求められましたので、同法第 290 条の規定による規約の変更の議決を求めるものであります。

それでは、議案の朗読により内容説明をさせていただきます。

議案書の 57 ページをお開き願います。

議案第 43 号北海道市町村職員退職手当組合格約の一部を改正する規約。

北海道市町村職員退職手当組合格約（昭和 32 年 1 月 23 日 32 地第 175 号指令許可）の一部を次のように改正する。

別表、網走の項中「網走支庁管内町村交通災害共済組合」を削り、同表、胆振の項中「胆振西部生組合」を削る。

附則といたしまして、この規約は、地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 286 条第 1 項の規定による総務大臣の許可の日から施行するものとございます。

以上で、議案第 43 号の内容説明を終わります。

議長（渡邊政吉君） 議案第４３号の内容説明が終わりましたので、本件の質疑を行います。

質疑に入ります。

（「なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 質疑を終わります。

これから、討論に入ります。

（「なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 討論を終わります。

これから、採決いたします。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 御異議なしと認めます。

したがって、議案第４３号は原案のとおり可決されました。

ここで、午後１時まで休憩いたします。

午前１１時０５分 休憩

午後 １時００分 再開

議長（渡邊政吉君） 休憩前に引き続き、会議を再開いたします。

#### 日程第２６ 議案第４４号

議長（渡邊政吉君） 日程第２６ 議案第４４号根室支庁管内町村公平委員会規約の変更についてを議題といたします。

内容について説明を求めます。

総務課長。

総務課長（松本光永君） 議案第４４号の内容説明を申し上げます。

根室支庁管内町村公平委員会規約の変更について。

本件につきましては、北海道における北海道総合振興局及び振興局の設置に関する条例の施行期日が、平成２２年４月１日となっておりますが、北海道根室支庁が北海道根室振興局と変更となることから、根室支庁管内町村公平委員会規約の題名の「根室支庁管内町村」を「根室町村等」とし、規約中の「北海道根室支庁管内」を「根室」に改めるため、地方自治法第２５２条の７第２項の規定により、議会の議決を求めるものであります。

それでは、議案の朗読により内容説明をさせていただきます。

議案書の５８ページをお開き願います。

議案第４４号根室支庁管内町村公平委員会規約の一部を改正する規約。

根室支庁管内町村公平委員会規約（昭和４７年制定）の一部を次のように改正する。

題名及び第２条中「根室支庁管内町村」を「根室町村等」に、第４条中「北海道根室支庁管内」を「根室」に改める。

附則としまして、この規約は、平成２２年４月１日から施行するとするものでございます。

以上で、議案第４４号の内容説明を終わります。

議長（渡邊政吉君） 議案第４４号の内容説明が終わりましたので、本件の質疑を行います。

質疑に入ります。

(「なし」の声あり)

議長(渡邊政吉君) 質疑を終わります。

これから、討論に入ります。

(「なし」の声あり)

議長(渡邊政吉君) 討論を終わります。

これから、採決いたします。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

議長(渡邊政吉君) 御異議なしと認めます。

したがって、議案第44号は原案のとおり可決されました。

#### 日程第27 議案第45号

議長(渡邊政吉君) 日程第27 議案第45号釧路・根室広域地方税滞納整理機構規約の変更についてを議題といたします。

内容について説明を求めます。

税務課長。

税務課長(干場俊昭君) 議案第45号釧路・根室広域地方税滞納整理機構の規約の変更についての内容を説明いたします。

釧路・根室広域地方税滞納整理機構の規約の機構の事務所の位置について、北海道総合振興局及び振興局の位置に関する条例により、北海道釧路支庁が北海道釧路総合振興局に名称変更となることに伴い、機構の事務所の位置の名称「釧路支庁庁舎内」を「北海道釧路総合振興局庁舎内」に変更したいとして、地方自治法第286条第2項の規定により協議がありましたので、同法第290条の規定に基づき、議会の議決を求めるものであります。

それでは、改正条文の朗読をいたします。

釧路・根室広域地方税滞納整理機構規約の一部を改正する規約。

釧路・根室広域地方税滞納整理機構規約(平成19年3月5日市町村第2003号指令)の一部を次のように改正する。

第4条中、「釧路支庁庁舎内」を「北海道釧路総合振興局庁舎内」に改める。

附則としまして、この規約は、平成22年4月1日から施行するとするものでございます。

以上であります。

議長(渡邊政吉君) 議案第45号の内容説明が終わりましたので、本件の質疑を行います。

質疑に入ります。

(「なし」の声あり)

議長(渡邊政吉君) 質疑を終わります。

これから、討論に入ります。

(「なし」の声あり)

議長(渡邊政吉君) 討論を終わります。

これから、採決いたします。



本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 御異議なしと認めます。

したがって、議案第４５号は原案のとおり可決されました。

#### 日程第２８ 議案第４６号

議長（渡邊政吉君） 日程第２８ 議案第４６号根室広域圏振興協議会の廃止についてを議題といたします。

内容について説明を求めます。

総合政策課長。

総合政策課長（有田博喜君） 議案第４６号について説明させていただきます。

議案書の６０ページをお開き願いたいと思います。

根室広域圏振興協議会の廃止についてでございます。

本圏域では、昭和４７年４月１日に根室管内１市４町の自治体で根室広域圏振興協議会を設立いたしました。これまで、５次にわたり広域市町村圏振興計画を策定するとともに、圏域の均衡ある発展を目指し、各市町の枠を超えた連携のもと産業基盤の整備を初めまして社会開発の推進や交通通信網など、圏域の振興発展に取り組んでまいりました。

一方、市町村合併の進展に伴い、広域行政圏内の市町村数の減少など、都道府県知事が圏域を設定し行政機能の分担等を推進してきました広域行政施策は、当初の役割を終えたものとしまして、国は、平成２１年３月３１日付をもちまして広域行政圏計画策定要綱を廃止したところでございます。

当根室広域圏振興協議会といたしましては、平成２１年１２月７日付の臨時総会におきまして、国の広域行政圏計画策定要綱が廃止されたこと、さらには、これまでの圏域内の均衡ある発展を目指した施策展開に一定の成果を上げたこと、これらを踏まえまして、当初の目的は達成されたものと判断いたし、廃止する方針を確認したところであります。

よりまして、今回、地方自治法第２５２条の６の規定により、根室広域圏振興協議会の廃止について議会の議決を求めようとするものです。

以下、議案の本文を朗読させていただきます。

議案第４６号根室広域圏振興協議会の廃止について。

地方自治法第２５２条の６の規定により、平成２２年３月３１日をもって、根室広域圏振興協議会を廃止することについて、議会の議決を求めます。

以上で、議案第４６号の内容説明を終わらせていただきます。

議長（渡邊政吉君） 議案第４６号の内容説明が終わりましたので、本件の質疑を行います。

質疑に入ります。

（「なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 質疑を終わります。

これから、討論に入ります。

（「なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 討論を終わります。

これから、採決いたします。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

議長(渡邊政吉君) 御異議なしと認めます。

したがって、議案第46号は原案のとおり可決されました。

日程第29 同意第2号

議長(渡邊政吉君) 日程第29 同意第2号根室支庁管内町村公平委員会委員の選任につき同意を求めることについてを議題といたします。

内容について説明を求めます。

町長。

町長(水沼 猛君) 同意第2号につきましては、根室支庁管内町村公平委員会委員の選任につき同意を求めることについてでございます。

御承知のとおり、根室支庁管内の4町で公平委員会を共同で設置をいたしてありまして、現在委員長を務められている本町の葛西祐さん、羅臼町の根塚亨さん、標津町の渡辺好之さんの3名が根室支庁管内町村公平委員会委員になっておられます。

このたび、本町の葛西祐さんが、平成22年3月31日をもって4年間の任期が満了となります。委員の選任については、関係4町の首長で協議をして選出することになっておりまして、協議の結果、引き続き葛西さんに根室支庁管内町村公平委員会委員として再任をいたしたいということで、議会の同意を求めるものでございます。なお、新たな任期については、平成22年4月1日から平成26年3月31日までの4年間でございます。

葛西さんの主な経歴を若干申し上げたいと思いますが、葛西祐さんは、別海町別海川上町139番地の77にお住まいでございまして、昭和17年6月24日生まれの満67歳でございます。葛西さんは、昭和36年3月釧路湖陵高等学校を卒業後、本別町教育委員会に勤務され、昭和42年5月から平成9年2月まで別海町教育委員会に勤務しておられました。また、皆さん御存じのとおり、平成9年2月から平成17年2月まで2期、別海町教育委員会教育長として別海町の教育の振興に大変御尽力をいただいております。また、その功績によりまして、別海町功労者表彰の榮譽に浴されてもおります。人格、識見ともにすぐれた方でありますので、ぜひ御同意を賜りますようお願いを申し上げます。次第であります。

以上であります。

議長(渡邊政吉君) 同意第2号の内容説明が終わりましたので、本件の質疑を行います。

質疑に入ります。

(「なし」の声あり)

議長(渡邊政吉君) 質疑を終わります。

これから、討論に入ります。

(「なし」の声あり)

議長(渡邊政吉君) 討論を終わります。

これから、採決いたします。

本案は、原案のとおり同意することに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

議長(渡邊政吉君) 御異議なしと認めます。

したがって、同意第2号は原案のとおり同意することに決定いたしました。

日程第 3 0 同意第 3 号

議長（渡邊政吉君） 日程第 3 0 同意第 3 号別海町監査委員の選任につき同意を求めることについてを議題といたします。

内容について説明を求めます。

町長。

町長（水沼 猛君） 同意第 3 号につきましては、別海町監査委員の選任につき同意を求めることについてでございます。

本定例会に提出をしております議案第 2 1 号で御説明をしたとおり、平成 2 2 年度から監査機能の充実、強化を図るため、監査委員 1 名を増員するものでございます。この増員に当たり、次の方を新たに別海町監査委員に選任をいたしたいので、地方自治法第 1 9 6 条第 1 項の規定により、議会の議決を求めるものでございます。

住所は、別海町別海川上町 1 3 9 番地の 2 9、下川原洋さんでございます。昭和 2 4 年 1 月 2 日生まれの満 6 1 歳でございます。なお、任期につきましては、平成 2 2 年 4 月 1 日から平成 2 6 年 3 月 3 1 日までの 4 年間でございます。

下川原さんの経歴を若干申し上げますと、昭和 4 2 年 3 月、中標津高等学校を卒業され、昭和 4 2 年 4 月から平成 1 8 年 8 月まで別海町役場に勤務をされておりました。その間、税務課、出納室、財政課、企画振興課、農林課などで勤務をされ、昭和 5 6 年 4 月に教育委員会総務課施設係長、平成 7 年 6 月に総務部、総務課長補佐、平成 1 1 年 5 月に財政課長、平成 1 6 年 4 月からは総務部次長として、別海町の行財政改革の推進に取り組まれました。下川原さんは行政全般に大変詳しい方でありまして、会計事務、財政運営、行財政計画に手腕を発揮し実績を残された方であることから適任と考え、過日、選任をお願いし快諾をいただいているところでございます。人格、識見ともに大変すぐれた方でありまので、ぜひ御同意を賜りますようお願いを申し上げる次第であります。

以上でございます。

町長（水沼 猛君） 同意第 3 号の内容説明が終わりましたので、本件の質疑を行います。

質疑に入ります。

（「なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 質疑を終わります。

これから、討論に入ります。

（「なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 討論を終わります。

これから、採決いたします。

本件は、原案のとおり同意することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 御異議なしと認めます。

したがって、同意第 3 号は原案のとおり同意することに決定いたしました。

日程第 3 1 諮問第 1 号

議長（渡邊政吉君） 日程第 3 1 諮問第 1 号人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについてを議題といたします。

内容について説明を求めます。

町長。

町長（水沼 猛君） 諮問第 1 号人権擁護委員の推薦につき議会の意見を求めることについてでございます。

別海町では現在、鈴木實さん、保田千恵子さん、岡部雪子さん、藤原優子さんの 4 名の方々に人権擁護委員として御活躍をいただいているところでございますが、このたび、釧路地方法務局長から、本町における人権擁護委員について 1 名の増員要請があったことから、新たに推薦をいたしたく議会の意見を求めるものでございます。

このたび新たに推薦をいたします方につきましては、現在、別海町尾岱沼港町 1 5 4 番地にお住まいの池田實さんであります。昭和 2 3 年 1 1 月 2 2 日生まれの満 6 1 歳で、任期につきましては平成 2 2 年 7 月 1 日から平成 2 5 年 6 月 3 0 日までの 3 年間でございます。

池田實さんの主な経歴を若干申し上げますと、昭和 4 2 年に小樽水産高校漁業科を卒業され、また、昭和 4 4 年 3 月には小樽水産高校漁業専攻科を卒業されておられます。卒業後、網走市の民間会社に入社し、昭和 4 4 年 4 月から平成元年 4 月まで、遠洋漁業の船長兼船頭として乗船活動をされていたということであります。平成元年 5 月に尾岱沼に戻られまして、家業を継ぎ漁業を営んで今日に至っております。公職についてであります、平成 1 5 年 6 月から平成 2 1 年 2 月まで別海町教育委員を務められたほか、野付小学校 P T A 会長、千島・歯舞諸島居住者連盟別海支部幹事など多くの役職につき御活躍をされております。また、現在も、野付漁業共同組合理事、別海町森林組合幹事として、他方面にわたって活躍をいただいている方でもございます。地域の人望も厚く、人格、識見ともにごすぐれた方でありますので御推薦をいたしたく、議員の皆様の御同意を賜りたいと存ずる次第であります。

以上でございます。

議長（渡邊政吉君） 諮問第 1 号の内容説明が終わりましたので、本件の質疑を行います。

質疑に入ります。

（「なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 質疑を終わります。

これから、討論に入ります。討論ございますか。

（「なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 討論を終わります。

これから、採決いたします。

本案は、諮問のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 御異議なしと認めます。

したがって、諮問第 1 号は諮問のとおり決定されました。

### 日程第 3 2 各議案・討論・採決

議長（渡邊政吉君） 日程第 3 2 各議案の討論・採決を行います。

これから、議案第 1 2 号平成 2 1 年度別海町一般会計補正予算の討論に入ります。

（「なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 討論を終わります。

これから、採決いたします。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 御異議なしと認めます。

したがって、議案第 12 号は、原案のとおり可決されました。

これから、議案第 13 号平成 21 年度別海町国民健康保険特別会計補正予算の討論に入ります。

（「なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 討論を終わります。

これから、採決いたします。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 御異議なしと認めます。

したがって、議案第 13 号は、原案のとおり可決されました。

これから、議案第 14 号平成 21 年度別海町下水道事業特別会計補正予算の討論に入ります。

（「なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 討論を終わります。

これから、採決いたします。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 御異議なしと認めます。

したがって、議案第 14 号は、原案のとおり可決されました。

これから、議案第 15 号平成 21 年度別海町介護サービス事業特別会計補正予算の討論に入ります。

（「なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 討論を終わります。

これから、採決いたします。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 御異議なしと認めます。

したがって、議案第 15 号は、原案のとおり可決されました。

これから、議案第 16 号平成 21 年度別海町介護保険特別会計補正予算の討論に入ります。

（「なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 討論を終わります。

これから、採決いたします。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 御異議なしと認めます。

したがって、議案第 16 号は、原案のとおり可決されました。

これから、議案第１７号平成２１年度別海町後期高齢者医療特別会計補正予算の討論に入ります。

（「なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 討論を終わります。

これから、採決いたします。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 御異議なしと認めます。

したがって、議案第１７号は、原案のとおり可決されました。

これから、議案第１８号平成２１年度町立別海病院事業会計補正予算の討論に入ります。

（「なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 討論を終わります。

これから、採決いたします。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 御異議なしと認めます。

したがって、議案第１８号は、原案のとおり可決されました。

これから、議案第１９号平成２１年度別海町水道事業会計補正予算の討論に入ります。

（「なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 討論を終わります。

これから、採決いたします。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 御異議なしと認めます。

したがって、議案第１９号は、原案のとおり可決されました。

#### 散会宣告

議長（渡邊政吉君） 以上で、本日の日程はすべて終了いたしました。

本日は、これにて散会をいたします。

なお、あすは午前１０時から一般質問を行います。

議員、管理職の皆様、御苦労さまでございました。

散会 午後 １時２０分

上記は、地方自治法第 1 2 3 条の規定により会議の次第を記載したものである。

平成 年 月 日

署 名 者

別海町議会議長

議 員

議 員

議 員